



1873年ウィーン万国博覧会

The Vienna Exposition of 1873: Meiji Japan from the perspectives of Japan and Austria

【日唄からみた明治日本の姿】

ペーター・パンツァー／沓澤宣賢／宮田奈奈 編



思文閣出版

ペーター・パンツァー、沓澤宣賢、宮田奈奈 [編]

1873年ウィーン万国博覧会 日唄からみた明治日本の姿

2022年 4月刊行

定価: 9,680円(税込)

▶A5判・340頁

ISBN978-4-7842-2028-1

ペーター・パンツァー…ウィーン大学歴史学科博士号取得
(歴史学). ボン大学名誉教授
みやた・なな…ボン大学大学院日本・韓国研究専攻博士号取得
(日本学). シュタイレック城美術館・文書館主任研究員
兼ウィーン大学神学部宗教学科研究員
くつざわ・のぶたか…東海大学大学院文学研究科博士課程満
期退学. 文学修士. 東海大学名誉教授

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-533-6860 fax. 075-531-0009
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票

発行: 思文閣出版

(京都 取引コード 3402)

冊数	冊	1873年ウィーン万国博覧会 日唄からみた明治日本の姿	
		本体8,800円(税別)	ISBN978-4-7842-2028-1
お名前		tel	本書HPのQRコード
		e-mail	
ご住所	〒		
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料800円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎		

ウィーン万国博覧会は明治政府が初めて参加した博覧会であり、日本の近代化を語るうえでの重要性はつとに指摘されてきた。近年、国内外における新資料の発掘、活用が進み、その研究はさまざまな分野で活況を呈している。

本書は、日本とオーストリア双方の視点から日本のウィーン万博参加を複眼的に検討することに加え、政治史、外交史、文化交流史、産業史、技術史など各分野で進む最新の研究を集成することで、従来の殖産興業政策への貢献という評価にとどまらないウィーン万博像を描出する。

〈目次〉

まえがき——本書について

(沓澤 宣賢)

I ウィーン 日本趣味の熱狂とそのゆくえ

第1章 ウィーン万国博覧会を介した日唄関係の始まり

(ペーター・パンツァー)

【付録】

ウィーン万国博覧会における日本について書かれた新聞記事

ウィーン万国博覧会に関する主要欧文文献

第2章 ウィーン万国博覧会でウィーンの人々が見た日本

(ペーター・パンツァー)

第3章 ウィーンのジャポニスム黎明期 (宮田 奈奈)

——ウィーン万国博覧会後の日本の流行まで

第4章 ウィーン万国博覧会後のジャポニスムをめぐる

——「日本古美術展」とシーボルト兄弟寄贈日本コレクション

(堅田 智子)

II 日本 国家事業としての参同

第5章 ウィーン万国博覧会と日本の参同

——明治初期の技術伝習とシーボルト兄弟の活動を中心に

(沓澤 宣賢)

第6章 幕末・明治初期の万国博覧会と佐賀藩ネットワーク

——輸出陶磁器を中心に

(伊藤真実子)

第7章 ウィーン万国博覧会と国家事業としての写真制作

(谷 昭佳)

第8章 ウィーン万国博覧会の展示品収集と「産物大略」

(阿部 大地)

第9章 海を渡った物品のその後とニール号沈没の影響

——関連資料紹介とともに

(遠藤 楽子)